

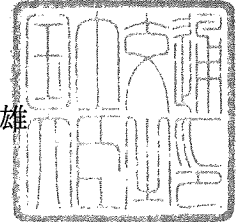


認定書

国住指第 2854 号
平成 17 年 3 月 2 日

株式会社古河テクノマテリアル
代表取締役社長 高田 誠之 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0221
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
バスダクト／ナイロン系樹脂不織布張グラファイト系熱膨張材付セラミックフ
アイバーブランケット充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

1. 構造名：

バスダクト／ナイロン系樹脂不織布張グラフィート系熱膨張材付セラミックファイバーブランケット
 充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	矩 形
	面積	0.60m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対するバスダクトの断面積の総合計の割合)		22.0%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ:100mm以上 (中空床を除く)

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2及びバスダクトの構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様		
ナイロン系樹脂 不織布張グラフィート系熱膨張材付セラミックファイバーブランケット (以下、耐火ブロック という。)	ナイロン系樹脂 不織布 (以下、 不織布という。)		
	グラフィート 系熱膨張材 (以下、熱膨張 材という。)		主要構成材料及び含有率の内容は 社外秘とさせていただきます。
	セラミックフ ァイバーブラ ンケット (以下、ブランケ ットという。)		
	充てん量	隙間が無いよう密に充てん (充てん幅:100mm)	

つづき

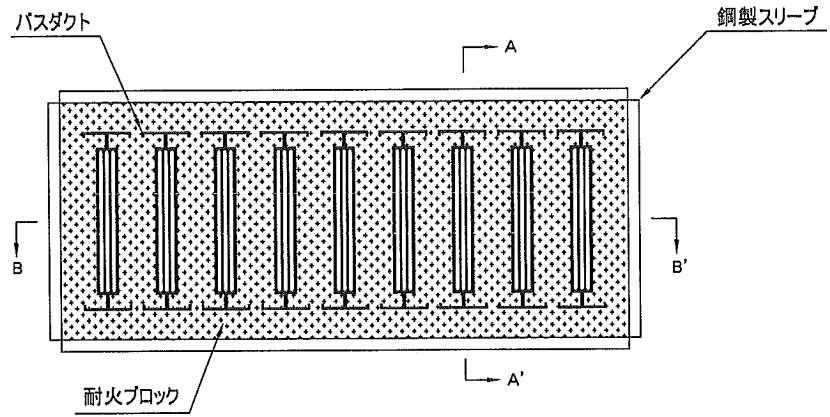
ナイロン系樹脂不織布張グラファイト系熱膨張材 (以下、補助充てん材という。)	ナイロン系樹脂不織布 (以下、不織布という。)		主要構成材料及び含有率の内容は社外秘とさせていただきます。
	グラファイト系熱膨張材		
	充てん量	隙間が無いよう密に充てんする	
支持板	材質	①又は② ①ロックウール保温板 (JIS A 9504、アルミニウムはく・ガラスクロス張) ②けい酸カルシウム板	
	厚さ	8 mm以上	
	密度	材質①又は②の密度 ①0.16 g/cm ³ 以上 ②0.3 g/cm ³ 以上	
支持部材	種類	①又は② ①スリーブ工法 (鋼製スリーブ及び支持棒 (あり又はなし)) ②金具工法 (詳細は図7参照)	
	材質	鋼製	
	厚さ	鋼製スリーブ及び金具 : 1.6 mm以上 支持棒 : φ6 mm以上	

表3 申請仕様のバスダクトの構成材料

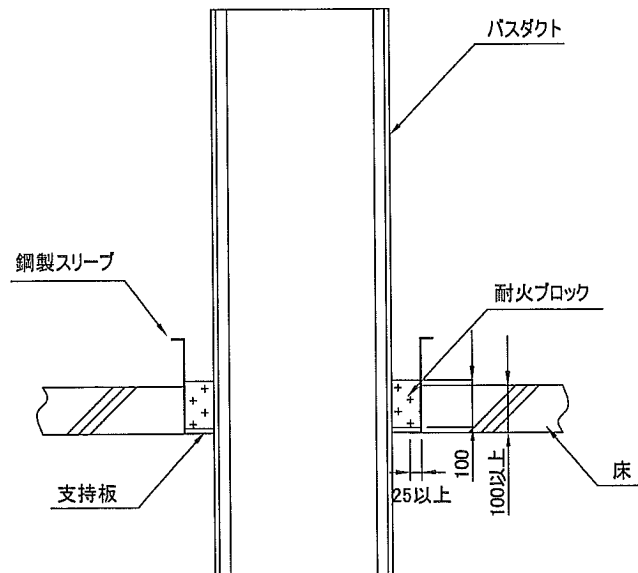
項目	申請仕様	
バスダクト	導体の断面積	3000mm ² 以下 (1枚あたり)
	導体の種類	JIS C 8364 に規定するもの
	絶縁体の材質	JIS C 8364 に規定するもの
	外箱の材質 (ダクト)	JIS C 8364 に規定するもの

4. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図7に示す。

単位 mm



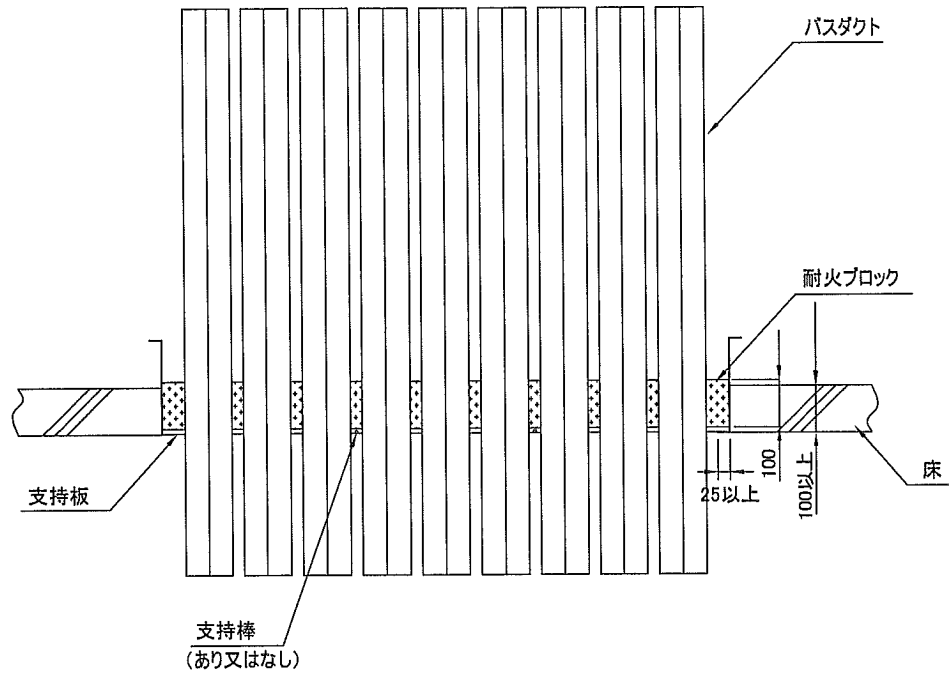
平面図



A-A断面図

図1 構造説明図(スリーブ工法)

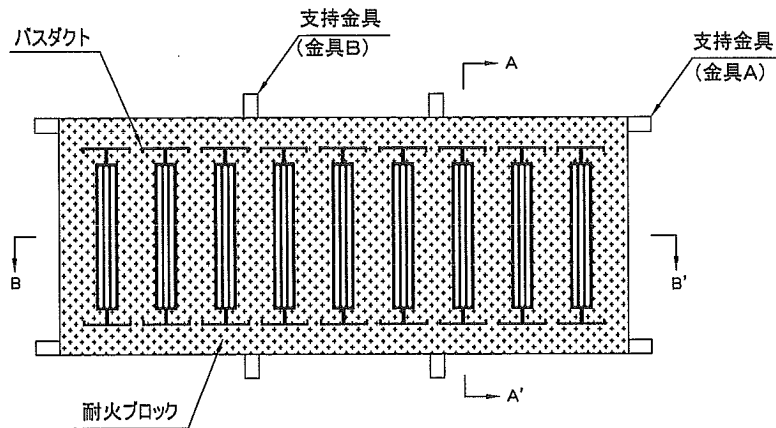
単位 mm



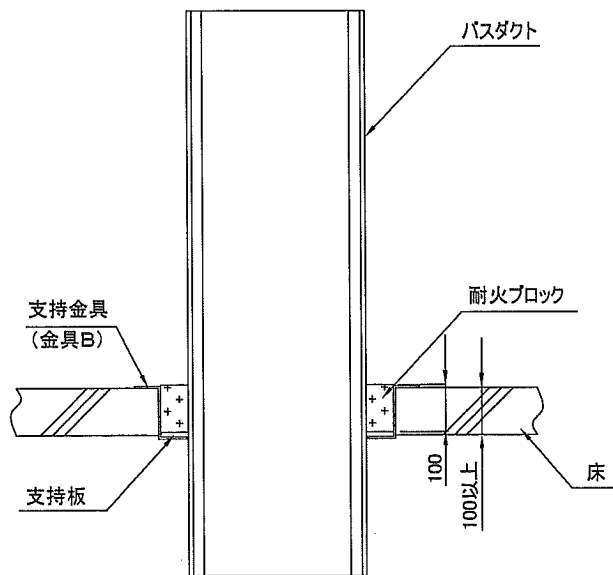
B-B'断面図

図2 構造説明図(スリーブ工法)

単位 mm



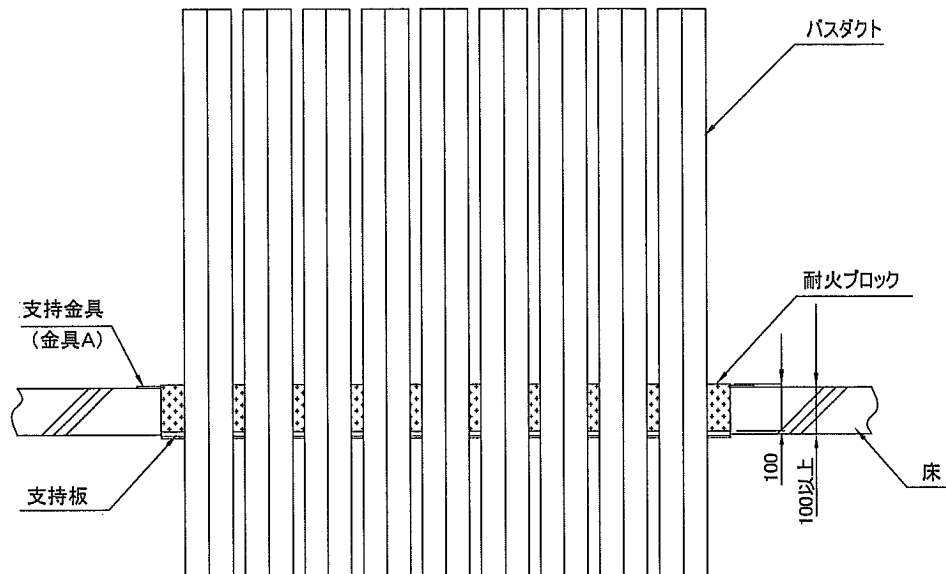
平面図



A-A'断面図

図3 構造説明図(金具工法)

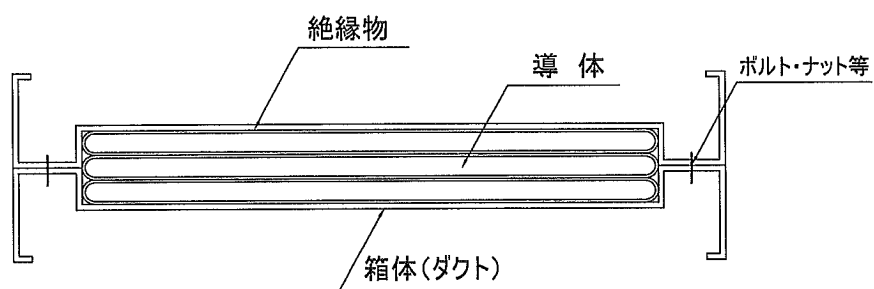
単位 mm



B-B'断面図

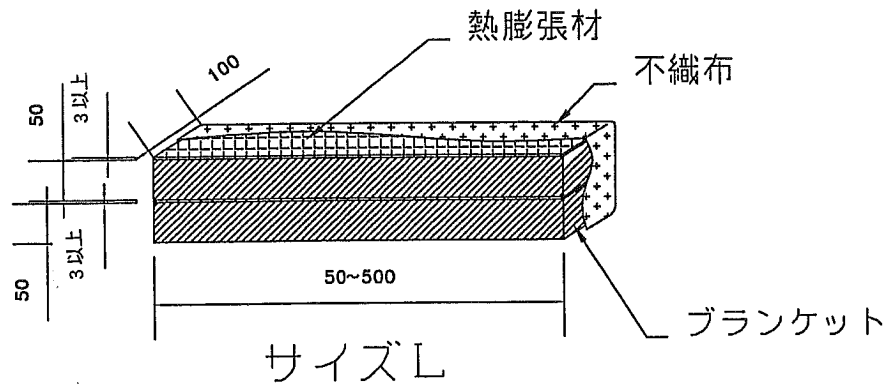
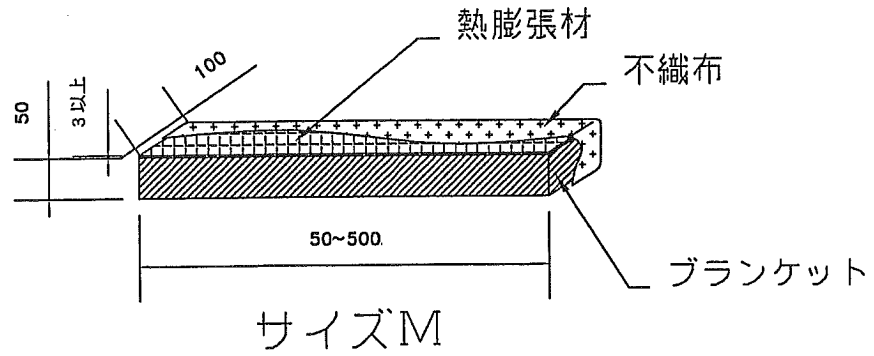
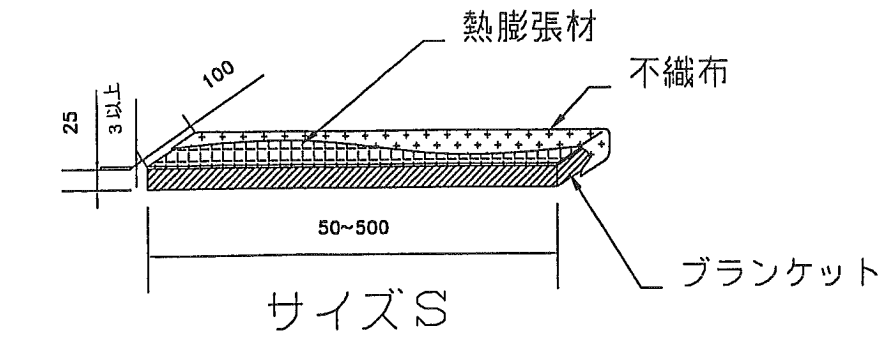
図4 構造説明図(金具工法)

単位 mm

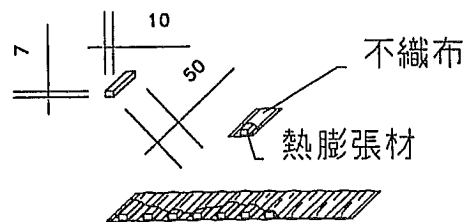


バスダクトの断面詳細図(一例)

図5 構造説明図



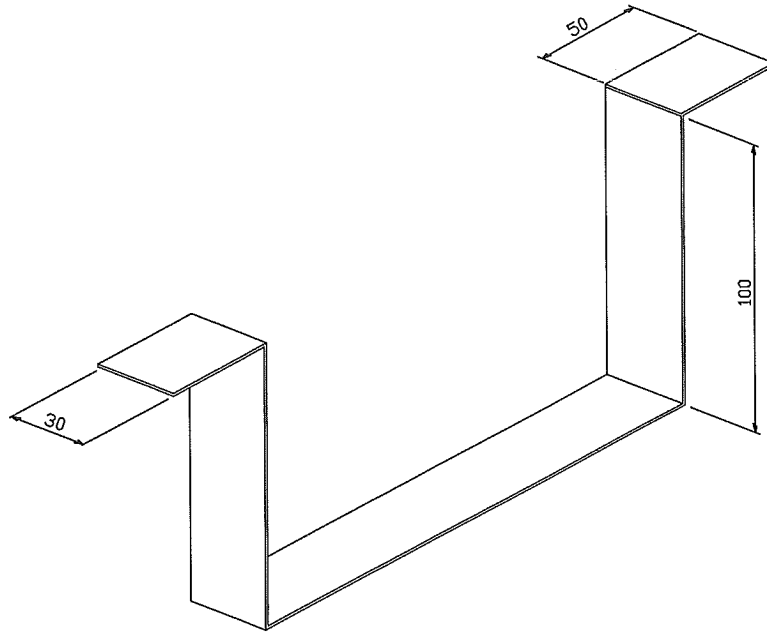
耐火ブロック詳細図



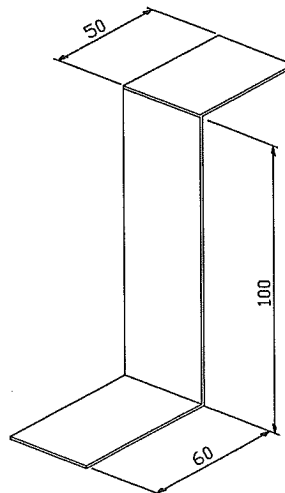
補助充填材詳細図

図6 構造説明図

単位 mm



支持金具詳細図(金具A)



支持金具詳細図(金具B)

図7 構造説明図

5. 施工方法

施工図を図8に示す。

施工は以下の手順で行う。

鋼製スリーブ工法の場合

(1) 開口部等の確認

鋼製スリーブの取付け、開口面積 0.6m^2 以下、占積率22.0%以下となっている事を確認する。

(2) 支持棒の設置

開口の長辺側の長さが600mmを超える場合には、適宜支持棒を鋼製スリーブ下部フランジ部に設置する。

(3) 支持板の取付け

支持板を、開口部及びバスダクトの形状に合わせて切断し、開口部に落とし込んで支持部材に固定する。

(4) 耐火ブロックの充てん

バスダクトどうしの谷間など小さな隙間に、小さい耐火ブロックを押圧してなじませながら充てんする。次いで耐火ブロックの大きいサイズより適宜組み合わせて、隙間のないように押圧してなじませながら、バスダクト周囲及び開口部内に充てんする。

(5) 確認

小さな隙間の充てん全体として隙間のないことを確認し、小さな隙間が認められる場合には、必要に応じて補助充てん材を挿入する。

金具工法の場合

(1) 開口部等の確認

開口面積 0.6m^2 以下、占積率22.0%以下となっている事を確認する。

(2) 支持金具の設置

支持金具（金具A又は金具B）を開口内長辺両端部に設置する。長辺が400mmを超える場合には、長辺部に適宜支持金具を設置する。原則は、支持金具（金具A）を用いるが、貫通部材に支持金具が接触する場合には、支持金具（金具B）を用いる。

(3) 支持板の取付け

支持板を、開口部並びにバスダクトの形状に合わせて切断し、開口部に落とし込んで支持金具上に設置する。

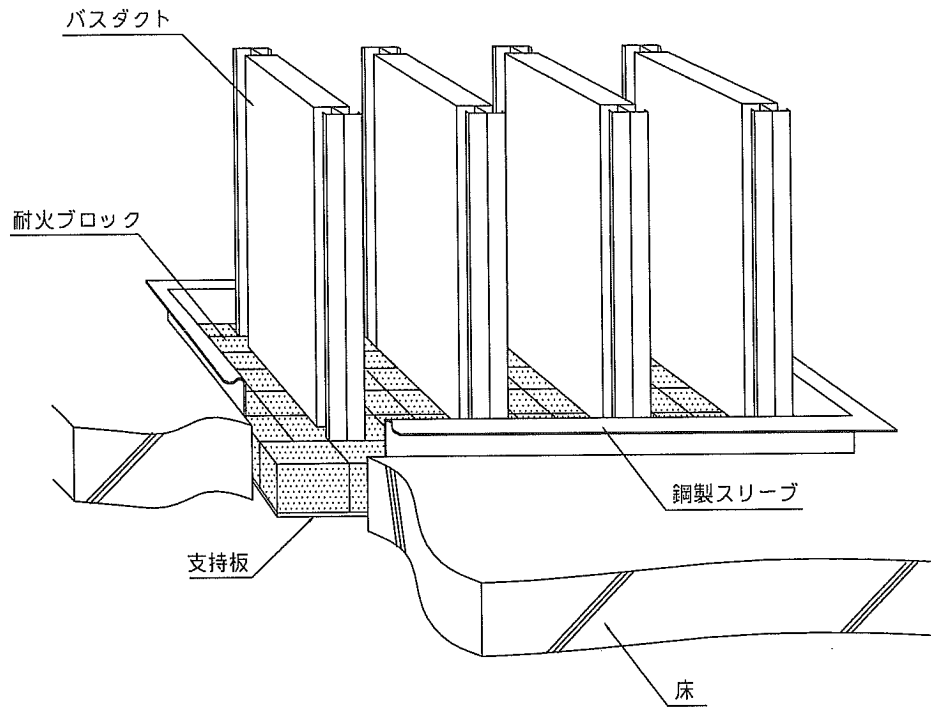
(4) 耐火ブロックの充てん

バスダクトどうしの谷間など小さな隙間に、小さい耐火ブロックを押圧してなじませながら充てんする。

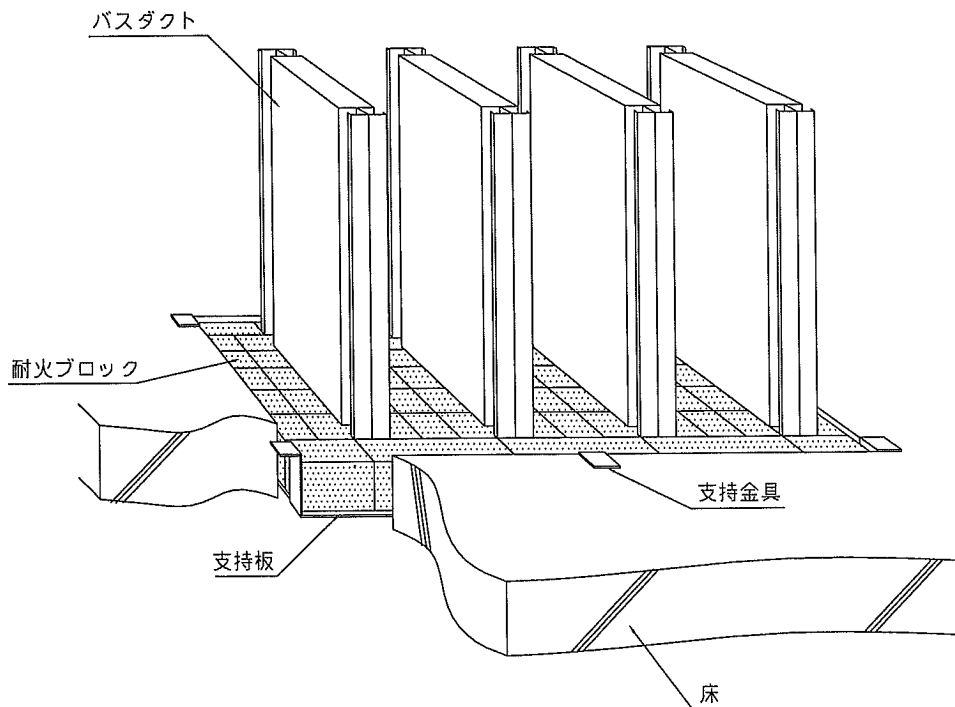
耐火ブロックの大きいサイズより適宜組み合わせて、隙間のないように押圧してなじませながら、バスダクト周囲及び開口部内に充てんする。

(5) 確認

小さな隙間の充てん全体として隙間のないことを確認し、小さな隙間が認められる場合には、必要に応じて補助充てん材を挿入する。



スリーブ工法



金具工法

図8 施工図